

## 厳島神社の鳥居

厳島神社には現在階段の途中と階段の上には二基の鳥居があります。下の鳥居は一七六八年に建てられ、二〇〇八年で丁度二四〇年になりました。鎌倉市の文化財目録には十二の鳥居が載っています。建立が一番古いのは鶴岡八幡宮の一ノ鳥居でしたが、関東大震災で倒壊し昭和十一年に再建されています。二番目は腰越の小動神社境内にある海神社の鳥居ですが、傷みがひどく全面的に補修剤を塗った為、全く昔の面影がなくなっていました。三番目が厳島神社の下の鳥居ですが、昔の面影を残している鳥居では鎌倉で一番古いものです。

上の鳥居は、古物商で財を成した小袋谷出身の方が大正六年十月に寄進され建立されたものです。近年境内近くから鳥居の残材が出土しましたが、それにも大正六年十月と彫られており石柱の太さや材質、土台石の大きさや形状も同じなので、古物商の方が二基寄進されたのかも知れません。数人の長老のお話では、江の電分譲の造成前までは鳥居が三基あったそうです。しかし寄進当時、亀甲山には八幡社があり吾妻社と厳島社は小袋谷公会堂の辺りにありました。八幡社には下の鳥居があったので吾妻社、厳島社に一基ずつ寄進され、厳島神社の社殿が亀甲山に再建され三社が合祀された昭和の初めに移されたのではないのでしょうか。